

涌谷町 防災行政無線  
設備更新工事  
システム仕様書

令和 7 年 4 月

涌谷町

## 目次

1. 総則 .....	1
1.1. 概要 .....	1
1.2. 目的 .....	1
1.3. システム構成 .....	1
1.4. 工事範囲 .....	2
1.5. 適用法規 .....	2
1.6. 履行期間及び履行箇所 .....	3
1.7. その他履 .....	3
2. 共通指摘事項 .....	3
2.1. 整備工事の原則 .....	3
2.2. 技術基準 .....	4
2.3. 使用部材の条件 .....	4
3. 防災情報配信システム概要 .....	5
3.1. 概要 .....	5
3.2. 周辺機器・回線について .....	6
4. J-ALERT 自動起動装置@Canal+ .....	7
4.1. 環境要件・機器要件 .....	7
4.2. 機能要件 .....	8
5. 携帯電話網等を活用した情報伝達手段@InfoCanal .....	8
5.1. @InfoCanal 親局システム .....	9
5.2. @InfoCanal 専用受信機を搭載した既設屋外拡声子局連携装置 .....	13
5.3. @InfoCanal 専用戶別受信機 .....	14
5.4. 権利義務の譲渡等の禁止 .....	16
5.5. 本町から提供する資料の取り扱い .....	16
5.6. 守秘義務など .....	16
5.7. セキュリティポリシー・個人情報保護 .....	16
5.8. 履行箇所の特定 .....	17
5.9. 瑕疵担保責任 .....	17
5.10. 特許権等の使用 .....	17
5.11. 仕様書遵守に要する経費 .....	17
5.12. 検査および検収 .....	17
5.13. 成果物 .....	17
5.14. その他 .....	18
6. 一部納入品についての補足 .....	19

# 1. 総則

## 1.1. 概要

本仕様書は、涌谷町（以下、「当町」という。）が発注する涌谷町防災行政無線設備更新工事（以下、「本工事」という。）に適用するとともに、本工事を受託する者（以下、「受託者」という。）として必要な事項を定めたものである。

## 1.2. 目的

現在、涌谷町では複数の配信メディアをそれぞれ個別運用しているため、職員の配信作業における負担が大きい。また、住民に対して統一した内容の情報伝達が行えていないという課題を抱えている。

本工事では、新規の開発は行わず、組合せ運用実績が十分にある「@InfoCanal」と「すぐメール Plus+」を利用することで整備費、維持費を抑えながら課題解決することを前提としている。これらのサービス群（システム群）を統一的に運用することで災害時等における緊急情報の情報伝達手段の確保、および簡易な操作で情報を確実・迅速に多種多様なメディアに対して一斉配信できる「配信プラットフォーム」を確立する。

## 1.3. システム構成

本事業で整備するシステムの構成・数量は、以下の通りとする。

- |     |   |   |     |
|-----|---|---|-----|
| (1) | 携帯電話網等を活用した情報伝達手段@InfoCanal システム構築                              | : | 1 式 |
| (2) | @InfoCanal 出力連携オプション(携帯 4 社, LINE, HP, Yahoo! 防災速報、すぐメール Plus+) | : | 1 式 |
| (3) | @InfoCanal 入力連携オプション(消防指令台)                                     | : | 1 式 |
| (4) | J-ALERT 自動起動装置@Canal+   | : | 1 式 |
| (5) | J-ALERT 自動起動装置@Canal+用 UPS+ソフトウェア                               | : | 1 式 |
| (6) | 19 インチラック+棚板  | : | 1 式 |
| (7) | VPN ルーター・L2-SW・新規インターネット回線・新規 ISP(メールアカウント情報付き)                 | : | 1 式 |
| (8) | 新型 J-ALERT 受信機 JARS-3000 (TYPE3) 本体<br>新型 J-ALERT 受信機 専用 UPS    | : | 1 式 |
| (9) | @InfoCanal 専用户別受信機(モニター用・7 年の端末ライセンス含む)                         | : | 3 台 |

(10)	電話応答装置 TS-500B @InfoCanal 専用户別受信機(電話応答装置連携用・7年の端末ライセンス含む) 電話応答装・NW用UPS含む	:	1 式
(11)	すぐメール Plus+ 入力連携オプション(@InfoCanal)	:	1 式
(12)	配信用ノート PC	:	4 台
(13)	@InfoCanal 専用受信機を搭載した既設屋外拡声子局連携装置(10年の端末ライセンス含む)	:	75 式
(14)	レフレックススピーカー(30W・標準色)	:	7 台
(15)	ストレートスピーカー(30W・標準色)	:	3 台
(16)	自局放送用マイク設備	:	75 式
(17)	子局用アンプ 120w(電力増幅装置)	:	73 式
(18)	子局用アンプ 240w(電力増幅装置)	:	2 式
(19)	子局用バッテリー24AH 12V 2組(120w子局用)		73 式
(20)	子局用バッテリー24AH 12V 4組(240w子局用)		2 式
(21)	@InfoCanal 専用户別受信機(7年の端末ライセンス含む)		100 台

## 1.4. 工事範囲

本事業に関わる工事範囲は以下の通りとする。

- (1) システム構成検討と詳細設計
- (2) システム整備工事
- (3) 各種試験の実施と試験成績書作成
- (4) 関係機関への許可書・届出書・報告資料等の作成
- (5) 導入時の取扱指導、取扱マニュアルの整備
- (6) その他、発注者より指示のある関連事項
- (7) 既設機器の撤去・処分、撤去機材は適正に廃棄処分し、マニフェストを発行するものとする
- (8) 既設防災行政無線の停止・廃止申請
- (9) 工事・撤去場所・作業範囲(特定子局のスピーカー・アンプの交換有無)については別紙の位置図を参照し、事前に現地調査をした上で行うことこと。

## 1.5. 適用法規

本工事を設計・製作・設置する受託者は、本仕様書に定めるもののほか、次に掲げる法規等に準拠すること。

(1) 法規等

- ① 電波法及び同法関係規則及び告示
- ② 建築基準法及び同法関係規則
- ③ 電気設備技術基準
- ④ 電気設備工事標準仕様書
- ⑤ 本町の条例等
- ⑥ その他関係法令等

(2) 規格

- ① 日本産業規格（JIS）
- ② 電気学会電気規格調査会標準規格（JEC）
- ③ 日本標準規格（JES）
- ④ 日本電機工業会標準規格（JEM）
- ⑤ 日本電子機械工業会規格（EIAJ）
- ⑥ 電子情報技術産業協会規格（JEITA）

## 1.6. 履行期間及び履行箇所

- (1) 履行期間 契約締結日から令和8年3月31日まで
- (2) 履行箇所 本庁舎及び涌谷町内各所

## 1.7. その他履行について

- (1) 参加申込後、辞退する場合は、参加辞退届を提出すること。
- (2) 提出期限後の書類の変更は認めない。
- (3) 提出された書類は、返還しない。

## 2. 共通指摘事項

### 2.1. 設備更新工事の原則

本工事にあたっては、システムがこの仕様に照合して最適の構造及び性能を有するとともに、次に掲げる事項を十分満足するものとなるように配慮して行うこと。

- (1) 本工事の実施において、当町の既存の設備を活用し、新たな設備の増を極力控えること。

また、既存設備の活用においては機器およびシステムの連携を図り、整合性がとれる

ものであること。

例) 既存の鋼管柱、鋼管柱基礎など

- (2) 堅牢にして長時間の使用に十分耐え得るものであり、維持管理が経済的に行えるものであること。
- (3) 日常の清掃、点検、調整及び保守、修理が容易に行えるものであり、かつ、これらに際して危険のない構造のものであること。

## 2.2. 技術基準

本工事にて整備する装置機材は、受託者の責任において品質管理の出来る信頼性の高いものを使用すること。また、将来、装置の増設及び機能の追加等に対し、容易に追加や変更が行えるよう配慮されていること。

## 2.3. 使用部材の条件

今回、新たに追加する各装置に使用する部品・材料は全て良品、新品を使用し、国際標準化機構（ISO）または日本産業規格（JIS）と同等以上の性能を有するものであること。

### 3.1. 概要

## 3.2. 周辺機器・回線について

- (1) @Canal+と新型 J-ALERT 向けに新規インターネット・新規 ISP を 1 組み用意すること。ISP はメールアドレスを具備するプランで申し込むこと。
- (2) @Canal+と新型 J-ALERT 向けに VPN ルーターを用意すること。VPN ルーター配下には同一セグメントで@Canal+と新型 J-ALERT を所属させ、新型 J-ALERT からソケット通信(ポート番号 49153)で @Canal+に連携が取れること。VPN ルーター配下の@Canal+と新型 J-ALERT がインターネットにつながり、@Canal+から@InfoCanal に API で連携できる通信環境を確立すること。VPN ルーターには VPN の設定を入れ、保守拠点からでも@Canal+と新型 J-ALERT の保守ができるようにすること。
- (3) @Canal+、新型 J-ALERT 向けにそれぞれ専用の UPS を用意すること。各専用 UPS と @Canal+・新型 J-ALERT はそれぞれシリアルケーブルで接続すること。
- (4) 電話応答装置・NW 機器向けに UPS を 1 台用意すること。
- (5) 既設の電話応答装置を新たな電話応答装置に入れ替えること。@InfoCanal で行った音声合成放送が、電話応答装置連携用@InfoCanal 専用戶別受信機経由で新たな電話応答装置に録音されること。
- (6) 新型 J-ALERT 受信機の設定を行うこと。新規インターネット回線と衛星で冗長化し、有効にする動作ルールは既存の J-ALERT の動作ルール設定を参考にすること。@Canal+はソケット通信 IF に対応した自動起動装置となり、それを踏まえた動作ルール設定・外部 IF 設定とすること。既設 J-ALERT 受信機に接続されている既設回転灯・既設試験モニタースピーカー等があれば流用し、新型 J-ALERT 受信機配下に移行すること。また既設回転灯・既設試験モニタースピーカー等流用の際にケーブル(LAN 等)の付け替えや延長・配線が必要であれば行うこと。
- (7) 19 インチラックを用意し指定する箇所に固定すること。当該ラックには①@Canal+、専用 UPS②新型 J-ALERT 受信機、専用 UPS③新規インターネット回線 ONU④VPN ルーター⑤電話応答装置⑥電話応答装置・NW 用 UPS⑦配信用ノート PC 1 台を収容し、当該ラック内で機器の配線接続・電源接続を行うこと。
- (8) 既設の J-ALERT 用衛星アンテナ・同軸ケーブルは流用し、新型 J-ALERT 受信機に接続すること。入れ替え期間中は、既設 J-ALERT 受信機アンテナから既存 LGWAN 系旧 J-ALERT 受信機(既設)に接続している既存同軸ケーブルに CS アンテナ 2 分配器(EC-2D3BK)・CS ラインブースターC27S(B)を組合せ 新型 J-ALERT 受信機(新規インターネット系)に並列で接続すること。同報系設備入れ替え後は、既設 J-ALERT 用アンテナからは新型 J-ALERT 受信機にのみに接続すること。
- (9) 利用中のサービスすぐメール Plus+に@InfoCanal からの API 入力機能を追加すること。
- (10) すぐメール Plus+上に電話発信に関する配信パタンを 1 つ用意し、@InfoCanal から



の入力試験を実施し接続を確立すること。ただし当該電話発信機能の維持(2026年度)の可否については、年間の維持費を鑑み協議の上決定すること。

(11) 配信用ノート PC 4 台は以下の通り設置すること。

- (ア) 1 台は 19 インチラック内据え付けとする。有線(新規インターネット LAN)でのインターネット接続とし、@Canal+と@InfoCanal のブックマークを作成すること。また、それらのサイトにアクセスできること。
- (イ) 1 台は総務課内据え付けとする。有線(新規インターネット LAN)・町内既設 WIFI・職員テザリング等いずれかの手段でのインターネット接続とし、@Canal+と@InfoCanal のブックマークを作成すること。また、それらのサイトにアクセスできること。
- (ウ) 1 台は消防本部内据え付けとする。有線(新規インターネット LAN)・既設 WIFI・職員テザリング等いずれかの手段でのインターネット接続とし、@Canal+と@InfoCanal のブックマークを作成すること。また、それらのサイトにアクセスできること。上記の手段での接続が難しい場合は、上限 3 ギガ通信 SIM 内蔵の筐体等を検討し提案すること。
- (エ) 1 台は医療センター据え付けとする。有線(新規インターネット LAN)・町内既設 WIFI・職員テザリング等いずれかの手段でのインターネット接続とし、@Canal+と@InfoCanal のブックマークを作成すること。また、それらのサイトにアクセスできること。上記の手段での接続が難しい場合は、上限 3 ギガ通信 SIM 内蔵の筐体等を検討し提案すること。

## 4. J-ALERT 自動起動装置@Canal+

新型 J-ALERT 受信機により入力された防災行政情報等を、携帯電話網等を活用した情報伝達手段@InfoCanal と携帯電話網等を活用した情報伝達手段@InfoCanal の先にある外部連携先システムに対して一斉配信する役割を担う。

### 4.1. 環境要件・機器要件

- (1) @Canal+は J-ALERT 受信機とソケット通信インターフェース(番号 49153)で接続されること。
- (2) @Canal+は インターネットに接続できること。
- (3) @Canal+に設定可能なメールアドレス、メールサーバーの情報があり、メール送信が可能な状態であること。当該情報はインターネット接続用 RT 向けに新規発行したプロバイダに付帯するものを使用すること。

- (4) AC・100V 電源が供給される環境があること。また、自動起動装置@Canal+向けには専用の UPS より AC・100V 電源が供給される環境があること。
- (5) 当該ハードウェアは 19 インチサーバーラック等に搭載し、安定した状態で設置すること。
- (6) VPN 接続が可能であること。
- (7) Web ブラウザ (Microsoft Edge) で配信操作を行うための Windows PC が整備されており、当該配信用 PC がネットワークを経由して、自動起動装置@Canal+につながる
- こと。
- (8) 利便性や実現性、実効性を考慮し、パッケージソフトウェアを使用すること。
- (9) OS はオープンソースソフトウェアの Rocky Linux とすること。
- (10) 災害時などで代替機への導入を可能とするため、システムを導入するハードウェアは特定メーカーに依存しないこと。

## 4.2. 機能要件

- (1) J-ALERT 受信機ソケット通信インターフェースから出力された文字情報を、人手を介さずに自動的に受信できるインターフェースを保持すること。
- (2) J-ALERT 受信機ソケット通信インターフェースから本装置に入力された文字情報の「データ種別」を認識できること。
- (3) J-ALERT 受信機ソケット通信インターフェースから入力された文字情報の「データ種別」および本装置内に記録されている経路制御設定に基づき、出力先システムを特定できること。
- (4) ログイン ID とパスワードによりアクセスコントロールができること。また、ユーザー登録、削除、及び設定情報の変更やユーザー毎の権限を設定し、権限に応じた機能提供が可能なこと。
- (5) 「情報入出力の経路制御機能」により、API を介して「@InfoCanal」の「前半鳴動音回数」「鳴動間隔」「本文繰り返し回数」「本文繰り返し間隔」「後半鳴動音回数」「繰り返し回数」「行政区分 ID」「本文」「件名」「連携先種別」を指定できること。
- (6) Windows PC 向けに、Web ブラウザ (Microsoft Edge) で操作できる情報配信画面を提供すること。
- (7) 「情報入出力の経路制御機能」により、API を介して「@InfoCanal」に情報を出力できること。

## 5. 携帯電話網等を活用した情報伝達手段@InfoCanal

監理・配信機能を持つ@InfoCanal 親局システムと、@InfoCanal 親局から受信した文字情

報を音声合成に変換して放送する@InfoCanal 専用受信機・@InfoCanal 専用户別受信機で構成される。

## 5.1.@InfoCanal 親局システム

@Canal+サーバー(自動起動装置)や WEB 画面の手動操作により入力された文字情報を@InfoCanal 専用屋外受信機・@InfoCanal 専用户別受信機・外部連携先システムに対し一斉配信を行う。

### 5.1.1. 環境要件

- (1) 庁舎内からインターネット回線を通じて、本システムにアクセス可能であること。
- (2) 庁舎被災時に備え、庁舎設置以外のインターネット網に接続された任意の PC 等の端末からでも配信操作が可能な状態であること。
- (3) 当システムへは、固有のアプリおよびプラグイン等に依存せず、標準的な Web ブラウザを用いてアクセスできること。
- (4) データベースのデータは適宜バックアップを行うこと。また、バックアップデータは複数拠点のデータセンターに保管すること。また、バックアップデータを格納するストレージは、年間を通して 99.99%以上の可用性を確保できる設計であること。
- (5) データの保管や持ち出しに対し、機密保持対策が講じられていること。
- (6) システムについて、必要なセキュリティ対策(情報漏洩、不正アクセス等)を講じること。また、端末との通信経路が、SSL/TLS 等により暗号化されていること。

### 5.1.2. 機能要件

#### (1) ユーザー管理機能

- ア 当設備の利用者の種別として、「システム管理者」および「情報配信者」を指定できること。「システム管理者」とは、主に当システムの動作設定および運用管理を行う者を想定している。「情報配信者」とは、各受信端末に対して情報の配信操作を行う者を想定している。なお、「システム管理者」は「情報配信者」が行うことができる全ての操作を行うことができること。
- イ システム管理者および情報配信者を複数名登録することができ、それぞれに固有のユーザーID とパスワードを設定できること。
- ウ 情報配信者に対して、それぞれに固有の配信権限(配信可能なグループを限定する等)を設定できること。
- エ 情報配信者に対して、「ログイン画面」を提供すること。システム管理者および情報配信者が、当該画面に登録済みであるユーザーID とパスワードの組み合わせ

せを入力することにより、管理・配信サイトにログインできること。

オ システム管理者に対して、Web ブラウザで閲覧可能な「ユーザー情報管理画面」を提供すること。システム管理者は、当該画面を用いてユーザーの登録・削除・編集することができること。

(2) 配信グループ管理機能

ア 配信グループに、任意の受信端末を所属させることができること。

イ 電子ファイル (CSV ファイル) により、配信グループと受信端末の設定情報をインポート・エクスポートできること。

(3) 受信端末管理機能

ア システム管理者に対して、Web ブラウザで閲覧可能な「受信端末管理画面」を提供すること。

なお、受信端末は、@InfoCanal 専用屋外受信機・@InfoCanal 専用戶別受信機を対象とすること。

イ 「受信端末管理画面」を用いて@InfoCanal 専用屋外受信機・@InfoCanal 専用戶別受信機の接続状態 (アンサーバック) を任意のタイミングで閲覧できること。

ウ @InfoCanal 専用屋外受信機・@InfoCanal 専用戶別受信機のファームウェアを遠隔アップデートできること。

エ 電子ファイル (CSV ファイル) により、全受信端末の情報をインポート・エクスポートできること。

(4) 配信情報の手動入力機能

ア 情報配信者に対して、Web ブラウザで閲覧可能な「配信情報入力画面」を提供すること。情報配信者は、当該画面を用いて配信情報を文字入力することができること。

イ 予め登録済みである配信テンプレートを用いて、配信情報を文字入力することができること。

ウ 配信情報入力操作において、配信対象を「配信グループ単位」もしくは「受信端末単位」で指定できること。受信端末単位で配信対象を指定する際は、端末種別に関わらず任意の端末を複数指定できること。

エ 情報配信者毎に指定されている特定の「テスト配信用端末」を、配信対象に指定できること。

オ 「配信情報入力画面」では音声合成メディア・文字メディア向けに2種の行政情報 (文字情報) 入力欄を設け、それぞれ文字入力した後1括の配信操作ができること。

カ 「配信情報入力画面」の音声合成メディア本文入力欄で{ , }内に単語・全角スペース・半角カタカナ・韻律記号 ( ' / | > ) を組合せて配信することで、専用戶別受信機・専用屋外受信機で読み上げる音声合成の調整ができること。

キ @InfoCanal 専用屋外受信機に対し時差放送を行えること。

(5) 配信情報の API による入力機能

ア 外部システムに対して、配信情報を入力可能な API を提供すること。当システムにおいては、主に@Canal+(自動起動装置)がこれを利用する想定である。

イ 配信対象を配信グループ単位(行政・地域・情報・属性区分 ID)で指定できること

ウ 本文繰り返し回数を指定できること。

エ 件名・本文を指定できること

オ 緊急度を「通常」、「緊急」で指定できること。

カ 緊急度を「通常」とした際に、鳴動音で通常音を指定できること。

キ 緊急度を「緊急」とした際に、鳴動音を緊急音、サイレン音、国民保護、緊急地震速報、大津波警報、津波警報、津波注意報から指定できること。

ク 前半鳴動音回数、鳴動間隔、本文繰り返し回数、本文繰り返し間隔、後半鳴動音回数、繰り返し回数、行政区分 ID、情報区分 ID、属性区分 ID、行政区分 ID、連携先種別を指定できること。

(6) 配信情報集計機能

ア 情報配信者に対して、ウェブブラウザで閲覧可能な「配信情報集計画面」を提供すること。「配信情報入力画面」から配信操作を実行した際に、配信結果を画面で確認できること。また、過去に配信した情報に対する配信履歴を閲覧できること。

イ 配信情報集計画面には、「地図」および「グラフ」を用いて配信結果を表示すること。

ウ 各受信端末が情報を受信した位置、もしくは情報を既読した位置などの情報に基づき、「地図」上に端末の位置を表示できること。一定の範囲に多数の端末が存在する場合は、端末群があることが分かるアイコンを表示し、そこに含まれる端末の台数を数値で表示できること。

エ 「グラフ」には、受信ステータス(未達・到達・既読)毎に、受信端末数が表示できること。

オ 情報配信者が地図上のマーカーやグラフ内の各要素を選択することにより、それらに含まれる受信端末の詳細情報を表示すること。

(7) LINE 連携機能

@InfoCanal から API を介し町公式 LINE(一斉)に本文を配信出力連携ができること。

(8) バックナンバーサイト発行機能

@InfoCanal で配信した件名・本文(日本語)をバックナンバーサイトに日本語のまま表示できること。@InfoCanal で配信した件名・本文(日本語)を英語に翻訳してバックナンバーサイトに表示できること。当町 HP 上にバックナンバーサイト用のリ

リンクを用意すること。町公式 HP から当該サイトに URL リンクを飛ばすことを想定している。

(9) 携帯 4 社緊急速報・エリアメール連携機能

@InfoCanal から API を介し、エリアメール (docomo)・緊急速報メール (au、ソフトバンク、楽天モバイル) へ件名・本文の配信連携ができること。

(10) すぐメール Plus+連携機能(登録制メール機能)

@InfoCanal から API を介し、すぐメール Plus+(登録制メール機能)へ配信連携ができること。

(11) すぐメール Plus+連携機能(電話発信機能)

@InfoCanal から API を介し、すぐメール Plus+(発信機能)へ配信連携ができるグループを用意し疎通の試験を実施すること。ただし、当該すぐメール Plus+の電話発信機能の維持(2026 年度)の可否については、年間の維持費を鑑み協議の上決定すること。仮に 2026 年度はすぐメール Plus+の電話発信機能は利用せず(加入せず)、2027 年度は利用する(加入する場合、既に@InfoCanal 配信画面上に存在する疎通試験済みの電話発信グループを活用することで、速やかにすぐメール Plus+連携機能(電話発信機能)を利用できるようにしておくこと。

(12) Yahoo!防災速報連携機能

@InfoCanal から API を介し、Yahoo!防災速報へテキストの配信連携ができること

(13) 消防指令台連携機能

「消防指令台」から「@InfoCanal の連携用アドレス」に向けて「メール」を送信(出力)した後、「@InfoCanal」で当該「メール」を受信(入力)すること。その際受信した「メール」に記載された文字情報(出火・鎮火・誤報等の本町の指定する情報)を「@InfoCanal」の任意のグループに対して自動配信する役割を担う。

「消防指令台」から「@InfoCanal の連携用アドレス」に向けて発出される「メール」については以下ア～コを前提とし、それらを満たすことで安定稼働すること。

また、現在本町の火災に関する連絡・放送を司る大崎消防指令台では、従来の音声合成放送(本町の防災無線に向けた)を実施した際、任意で登録したメールアドレスにも、上記音声合成放送に打ち込んだ文字情報(原稿)が送られており、本事業で新たに「@InfoCanal の連携用アドレス」を追加登録するにあたり、大崎消防指令台の改造は発生しない認識である。また本事業では大崎消防指令台の改造は実施しない。

ア 当該機能は「消防指令台」から発出されるメール件名・本文が事前に共有された雛形通りであること。

イ メール形式がプレーンテキスト形式(HTML メールは非対応)・シングルパート形式であること

ウ 文字コードが iso-2022-jp もしくは UTF-8 であること。

- エ 文字種が J I S X 0 2 0 8 範囲内の文字であること。
- オ F r o m メールアドレスが ASCII 文字であること。
- カ F r o m メールアドレスが固定であること。
- キ 指定のメールアドレス (T O)、(C C)、(B C C) いずれかに送信すること。
- ク 件名が 5 0 文字以内であること。
- ケ 本文が 1 0 2 4 文字以内 (改行含む) であること。
- コ 送信ドメイン認証として S P F に対応していること。

## 5.2. @InfoCanal 専用受信機を搭載した既設屋外拡声子局連携装置

@InfoCanal 親局から受信した文字情報を音声合成に変換して放送する受信機(受信部)・機能を持つ。「@InfoCanal 専用受信機を搭載した既設屋外拡声子局連携装置」は@InfoCanal 受信機(受信部)と既設同報系子局設備(75 か所)を放送連携させる役割を担い、子局のアンプ・スピーカーから音声合成放送を拡声させること。「@InfoCanal 専用受信機を搭載した既設屋外子局連携装置」は@InfoCanal 受信機(受信部)と屋外用プラスチック筐体を組み合わせて製作すること。既設の子局設備(ブレーカー・柱・基礎・電源部・スピーカー※1)は流用し、子局の受信部・アンプ・バッテリー・自局放送マイク※2は入れ替えること。また、子局ごとに設置されている回転灯(2 種類)は廃止とする。

※1 スピーカー72 か所は既設流用、3 か所は入れ替えとなります。

※2 子局ごとの自局放送では声のみ、上り・下りに関する音(チャイム等)は廃止とする。

### 5.2.1. 環境要件

- (1) 設置場所において搭載 SIM に対応する電波が圏内で安定しており、通信できる環境があること。
- (2) 電源の供給が可能なこと。

### 5.2.2. 機器要件・機能要件

- (1) 商用電源、バッテリーによる駆動が可能なこと。
- (2) 通常時は商用電源により駆動し、給電が途絶えた場合に自動的にバッテリーによる駆動に切り変わること。また、給電が回復した場合に自動的に商用電源による駆動に切り変わること。
- (3) 音声外部出力端子(音声、GND、接点制御)を具備すること。
- (4) LTE/3G を用いて、@InfoCanal 親局システムとの通信を行うこと。
- (5) 壁面および円柱への設置ができること。
- (6) 通信回線として、LTE を用いて、管理・配信設備との通信を行うこと。

- (7) 技術基準適合証明書を取得していること。
- (8) @InfoCanal 親局から遠隔でアップデートができること。
- (9) 情報を受信した際、設定ファイルの音量にて鳴動・読み上げができること。
- (10) @InfoCanal 親局でランドマーク情報として緯度、経度を指定しておくことで、@InfoCanal 親局の地図上に@InfoCanal 専用屋外受信機の位置を表示できること。
- (11) 遠隔でグループ設定ができること。
- (12) @InfoCanal 親局の管理・配信設備から配信されたテキスト形式の情報を受信できること。
- (13) @InfoCanal 親局の管理・配信設備から配信されたテキスト形式の情報を受信した際に自動的に通知音の鳴動および音声合成(女性)による内容の読み上げが開始されること。
- (14) 受信した情報の緊急度(通常・緊急)により、通知音の鳴らし分けができること。
- (15) @InfoCanal 親局の管理・配信設備との接続が確立している状態において、端末がオンラインである旨を管理・配信設備へ通知できること。(アンサーバック機能)
- (16) @InfoCanal 親局の管理・配信設備から配信されたテキスト形式の情報を受信した際に受信した旨を管理・配信設備に通知できること。
- (17) docomo・au のマルチキャリア SIM を搭載できること。
- (18) 楽曲を最大 6 曲・合計 180 秒まで記憶できること。
- (19) 通常音、緊急音、サイレン音、国民保護、緊急地震速報、大津波警報、津波警報、津波注意報に関する音源を記憶できること。
- (20) 既設同報系子局装置(全 75 か所のアンプ・スピーカー)に音声合成放送連携できること。

## 5.3. @InfoCanal 専用户別受信機

@InfoCanal 親局から受信した文字情報を音声合成に変換して放送する機能を持つ。

100 台住民用、1 台は電話応答装置連携用、3 台はモニター用で利用する。モニター用は総務課・消防本部・医療センターに設置することを想定している。

### 5.3.1. 環境要件

- (1) 設置場所において搭載 SIM に対応する電波が圏内で安定しており、通信できる環境があること。
- (2) コンセントの差し込み口があり、安定した電源の供給が可能なこと。

### 5.3.2. 機器要件・機能要件

- (1) 商用電源および乾電池による駆動が可能であること。
- (2) パソコン、スマートフォン、タブレット、フィーチャーフォン等の汎用品は



@InfoCanal 専用户別受信機とはみなさない。

- (3) 筐体に直接単三乾電池 4 本を装着するソケットを具備していること。
- (4) 通常時は商用電源により駆動し、給電が途絶えた場合に自動的に乾電池による駆動に切り変わる事。また、給電が回復した場合に自動的に商用電源による駆動に切り替わる事。
- (5) 高齢者等にも押下しやすい大きな物理ボタンを前面に具備していること。また、単純な操作により、既読確認や聞き直し等が行えること。
- (6) 懐中電灯の代替となる簡易なライトを具備していること。
- (7) 音声外部出力端子（音声 LR、GND、接点制御）を具備していること。
- (8) 屋内において壁面および卓上への設置ができること。また、携行利用ができること。
- (9) 通信回線として、LTE/3G を用いて、管理・配信設備との通信を行うこと。
- (10) 技術基準適合証明書を取得していること。
- (11) @InfoCanal 親局の管理・配信設備から遠隔でファームウェアのアップデートができること。
- (12) 情報受信者（端末の利用者）により音量の設定ができること。ただし、緊急情報を受信した場合は、設定された音量にかかわらず最大音量にて鳴動・読み上げを行うこと。
- (13) @InfoCanal 親局の管理・配信設備からグループ設定ができること。
- (14) 電源 OFF 状態を含む通信断の状態に配信された情報は、通信が回復した時点で自動的に受信できること。
- (15) GPS 信号による位置情報の測位ができること。
- (16) Docomo もしくは au の SIM を搭載できること。
- (17) @InfoCanal 親局の管理・配信設備から配信されたテキスト形式の情報、およびエリアメールを受信した際に、自動的に着信音の鳴動および合成音声による内容の読み上げが開始されること。
- (18) 物理ボタンを押下することにより、鳴動・読み上げの再生を停止できること。
- (19) 本体のみで直立する形状をしていること。
- (20) 受信した情報の緊急度（通常・緊急）により、通知音の鳴らし分けができること。
- (21) 緊急度が「緊急」である情報を受信した際には、ミュート（設定音量がゼロ）の場合も含め強制的に最大音量で鳴動すること。
- (22) 緊急度が「通常」である情報を再生中に、緊急度が「緊急」である情報を受信した場合は、再生中の鳴動・読み上げを停止し、緊急度が「緊急」である情報を鳴動・読み上げさせること。
- (23) 情報受信者（端末の利用者）が確認ボタンを押下することにより、受信済みの情報を再生できること。
- (24) 受信済みの情報を 5 件以上保持できること。

- (25)@InfoCanal 親局の管理・配信設備との接続が確立している状態において、端末がオンラインである旨を管理・配信設備へ通知すること。(アンサーバック機能)
- (26)@InfoCanal 親局の管理・配信設備から配信されたテキスト形式の情報を受信した際に、受信した旨を管理・配信設備に通知すること。同様に、情報受信者(端末の利用者)が、確認ボタンを押下した際にもその旨を通知すること。
- (27)@InfoCanal 親局の管理・配信設備に状態を通知する際には、位置情報測位機能により取得した端末自身の位置情報を、通知内容に付与すること。
- (28)未確認の情報がある場合には、ランプが点灯すること。
- (29)乾電池の電圧が一定以下に低下したことを、端末使用者に知らせること。
- (30)楽曲を最大6曲・合計180秒まで記憶できること。
- (31)通常音、緊急音、サイレン音、国民保護、緊急地震速報、大津波警報、津波警報、津波注意報に関する音源を記憶できること。一般事項

## 5.4. 権利義務の譲渡等の禁止

受託者は、本工事により生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、若しくは承継させ、又はその権利を担保の目的に供することができない。ただし、あらかじめ本町の承認を得た場合は、この限りでない。

## 5.5. 当町から提供する資料の取り扱い

受託者は、本工事に係る契約が満了し、若しくは解除されたとき又は資料等が本工事遂行上不要となった場合は、遅滞なく資料等を当町に返還し、又は本町の指示に従った処置を行うものとする。

## 5.6. 守秘義務など

- (1) 本工事における成果物(中間成果物を含む。)については、本工事においてのみ使用することとし、これらを蓄積および他の目的に使用をしてはならない。
- (2) 本工事の履行に当たって知り得た秘密を漏らしてはならない。
- (3) 上記2点の規定は、本工事に係る契約期間の満了後又は契約解除後も同様とする。

## 5.7. セキュリティポリシー・個人情報保護

受託者又は本町の承認を得て再委託された場合の再委託先及びそれらの使用人は、本工事の履行に当たり、本町の定めるセキュリティポリシーを遵守しなければならない。さらに本工事を遂行するための個人情報の取扱いについて、当町の定める情報公開及び個人情報保護に関する条例を遵守しなければならない。

## 5.8. 履行箇所の特定

受託者は、本工事の履行に当たり、履行箇所（住所、事業所名等）を特定するものとし、当町に無断で当該履行箇所以外での工事を行ってはならない。

## 5.9. 瑕疵担保責任

- （１） 本工事の検査完了後 1 年以内に、本仕様書に定める成果物において瑕疵が発見された場合、受託者が無償で対応可能な範疇、期間で補修又は追完を行うものとする。
- （２） 上記点の規定は、本工事に係る契約期間の満了後又は契約解除後も同様とする。

## 5.10. 特許権等の使用

受託者は、特許権、実用新案権、意匠権、商標権その他の法令に基づき保護される第三者の権利（以下「特許権等」という。）の対象となっている材料、履行方法等を使用するときは、その使用に関する責任を協議の上、必要な範囲で負わなければならない。ただし、受託者がその材料、履行方法等を指定した場合において、仕様書に特許権等の対象である旨の明示がなく、かつ、受託者がその存在を知らなかったときは、本町は、受託者がその使用に関して要した費用を負担するものとする。

## 5.11. 仕様書遵守に要する経費

本仕様書を遵守するために要する経費は、明らかに受託者の責によるものであると協議の結果、受託者が認可したものに限り受託者の負担とする。

## 5.12. 検査および検収

- （１） 搬入検査  
材料および機器類の搬入時に実施する。
- （２） 完成検査  
整備完成后、当町の指定する日に当町の検査員が実施する。
- （３） 検 収  
検収には当町の係員も立会うものとし、その検査合格をもって機器性能の検収とする。

## 5.13. 成果物

受託者は、次に示す成果品を令和 8 年 3 月 3 1 日までに本町に納めるものとする。

- (1) システム構成図 1 部
- (2) システム操作説明書 1 部
- (3) システム操作説明書(簡易版) 1 部
- (4) 上記2点の電子データ (CD-R 又はDVD-R) 1 部
- (5) システム環境 1 式
- (6) 打合せ記録簿 1 部

## 5.14. その他

この仕様書に定めのない事項又はこの仕様書について疑義の生じた事項については、本町と受託者で協議して定めるものとする。

## 6. 一部納入品についての補足

No.	名 称	仕 様	数 量	備 考
1	配信用 P C	CPU : インテル Core i5 以上 OS : Windows 11 Home 以上 メモリ : 4GB RAM 以上 ストレージ容量 : SSD : 128GB 以上 有線 LAN ポート : あり 画面サイズ : 13 型(インチ) 以上 WIFI 接続機能 : あり SIM 内蔵スロット : 設置場所に有線 LAN ・ WIFI ・ テザリング環境が無い場合、は SIM 内蔵スロット ・ SIM を具備すること Office : 無	4	
2	@InfoCanal 専用戸別受信機(モニター用・電話応答連携用の計 4 台含む)	無線方式 : 対応キャリア網 docomo (LTE/3G)、au (LTE のみ) LTE 通信 対応周波数帯域 B1、B3、B18、B19 3G 通信 対応周波数帯域 B1、B19 緊急速報 (ETWS/CBS) 情報受信 GPS 測位 : GPS (Standalone) スピーカー : 85db SPL (機器正面 50cm 位置) 外部出力 : Φ35mm 4 極ミニジャック (先端より、モノラル音声、モノラル音声、GND、外部制御信号) 電源 : 専用 AC アダプタ (入力 AC100V50/60Hz 出力 DC12V1A) 電池 (アルカリ単三電池 × 4 本 約 36 時間駆動) 外形寸法 : 200mm (W) × 106mm (H) × 59mm (D) 重量 : 約 435g (電池含まず) 使用条件 : 温度 : 0~40℃ (保管温度-10~60℃) 湿度 : ~80% 結露しない事 音声合成 : 話者女性・自治体毎の辞書対応	104	docomo もしくは au の SIM を内蔵すること。

		<p>付加機能：ランプと音声による電池消耗通知、遠隔ファームアップ機能（FW、設定パラメータ、チャイム、楽曲、音声合成辞書）、最大6件の履歴再生</p>		
3	@InfoCanal 専用受信機を搭載した既設屋外拡声子局連携装置	<p>無線方式：</p> <p>対応キャリア網 docomo (LTE/3G)、au (LTE のみ)</p> <p>LTE 通信 対応周波数帯域 B1、B3、B18、B19</p> <p>3G 通信 対応周波数帯域 B1、B19</p> <p>緊急速報（ETWS/CBS）情報受信</p> <p>GPS 測位：GPS (Standalone)</p> <p>スピーカー：85db</p> <p>SPL (機器正面 50cm 位置)</p> <p>外部出力：Φ35mm 4 極ミニジャック</p> <p>(先端より、モノラル音声、モノラル音声、GND、外部制御信号)</p> <p>電源：専用 AC アダプタ</p> <p>(入力 AC100V50/60Hz 出力 DC12V1A)</p> <p>受信機(部)部分の外形寸法：200mm (W) × 106mm (H) × 59mm (D)</p> <p>使用条件：温度：0～40℃</p> <p>(保管温度-10～60℃)</p> <p>湿度：～80% 結露しない事</p> <p>音声合成：話者女性・自治体毎の辞書対応</p> <p>付加機能：遠隔ファームアップ機能（FW、設定パラメータ、チャイム、楽曲、音声合成辞書）</p> <p>筐体：屋外用プラボックスもしくは、既設同報系子局設備(既設受信機 BOX・既設外接箱)と組み合わせ製作</p>	75	<p>Docomo・au のマルチキャリア SIM を内蔵すること。</p>

4	J-ALERT 自動起動装置@Canal+	型式：1U ラックマウント型 CPU：インテル® Xeon® プロセッサ相当 メモリ：4GB 以上 HDD：300GB 以上 SAS HDD × 2 (RAID1) 以上 ドライブ：DVD-R 相当 OS: Rocky Linux EIA 規格	1	
5	J-ALERT 自動起動装置@Canal+専用UPS	出力電力：1200VA / 900W 定格入力電圧：AC100V	1	シリアルケーブルで@Canal+(自動起動装置)と接続すること。
6	VPN ルーター	LAN/WAN ポート：LAN：4 ポート，WAN：1 ポート ※全ポート：10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T，ストレート/クロス自動判別 ※LAN ポートは 4 ポート L2 スイッチ メモリー：Flash ROM32MB、RAM256MB 対応回線：FTTH スループット：最大 2.0Gbit/s VPN 機能：IPsec (VPN 機能：NAT トラバーサル，XAUTH)	1	
7	新型 J-ALERT 受信機 JARS-3000 (TYPE3)	通信インターフェース イーサネット：100BASE-TX/1000BASE-T シリアル：RS-232C CPU：Intel Atom x6425E CPU クロック：2.00Ghz メモリ：DDR4 SDRAM ストレージ(システム)：20Gbyte ストレージ(ログ)：20Gbyte	1	

8	J-ALERT 専用 UPS	出力容量：500VA/450W 定格入力電圧：AC100V	1	シリアルケーブルで新型 J-ALERT 受信機と接続すること。
9	19 インチラック	EIA 規格 19 インチ 外形寸法 横 600mm 深さ 600mm @Canal+、新型 J-ALERT 受信機、専用 UPS × 2、電話 応答装置、NW機器向けに棚板 を用意すること。	1	
10	レフレックススピー カー	30W・標準色	7	
11	ストレートスピー カー	30W・標準色	3	
12	自局放送用マイク 設備（PM-222D と マイクロホンアン プ AT-MA2）	自局放送の際は、サイレン・チャイム無。 形式：ムービングコイルマイク 指向性パターン：単一指向性 定格インピーダンス」600 Ω 平衡型 定格感度レベル：-47 dB（1 kHz 0 dB = 1 V/Pa） 周波数特性：100 Hz～10 kHz マイクコード：2心シールド線+2心線 5P-D I Nプラグ、カールコード 2 m（伸長時） トークスイッチ：ショートオフ型、ロック付プッシュ トーク型 リモートスイッチ：無電圧メイク接点入力（トークス イッチ連動）開放電圧：DC30 V 短絡電流：5 00 mA以下 仕上：ABS樹脂 グレー	75	



13	子局用アンプ 120w(電力増幅装置)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源電圧 通常時：AC100V<math>\pm</math>10%（50／60Hz）、DC+24V<math>-</math>10%／+20% 停電時：DC+24V<math>-</math>10%／+20%</li> <li>・消費電流 AC100V 最大1A（外部AC出力電流を除く） DC+24V 最大13A</li> <li>・温度条件 <math>-20\sim+60^{\circ}\text{C}</math></li> <li>・湿度条件 <math>35^{\circ}\text{C}</math> 90%（結露無き条件にて）</li> <li>・音声入力レベル <math>0\pm2\text{dB}</math>（0.775Vrms）<math>600\Omega\pm20\%</math>（出荷時設定）／<math>20\text{k}\Omega\pm20\%</math></li> <li>・音声（スピーカー）出力レベル 定格出力 120W<math>\pm</math>10%</li> <li>・出力インピーダンス <math>83\Omega</math>（120W）に適合</li> </ul>	73
14	子局用アンプ 240w(電力増幅装置)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源電圧 通常時：AC100V<math>\pm</math>10%（50／60Hz）、DC+24V<math>-</math>10%／+20% 停電時：DC+24V<math>-</math>10%／+20%</li> <li>・消費電流 AC100V 最大1A（外部AC出力電流を除く） DC+24V 最大20A</li> <li>・温度条件 <math>-20\sim+60^{\circ}\text{C}</math></li> <li>・湿度条件 <math>35^{\circ}\text{C}</math> 90%（結露無き条件にて）</li> <li>・音声入力レベル <math>0\pm2\text{dB}</math>（0.775Vrms）<math>600\Omega\pm20\%</math>（出荷時設定）／<math>20\text{k}\Omega\pm20\%</math></li> <li>・音声（スピーカー）出力レベル 定格出力 120W<math>\pm</math>10%<math>\times</math>2</li> </ul>	2

		・ 出力インピーダンス 83Ω（120W）に適合		
15	子局用バッテリー	24AH 12V 2組（120w 子局用）	73	
16	子局用バッテリー	24AH 12V 4組（240w 子局用）	2	
17	電話応答装置	TS500B	1	
18	電話応答装・NW 用 UPS 含む	出力容量：500VA/450W 定格入力電圧：AC100V	1	